

2027年度

岡山大学理学部第3年次編入学

学 生 募 集 要 項

岡 山 大 学 理 学 部

連絡先 岡山大学理学部事務室 教務学生担当

所在地 〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1番1号

電 話 (086) 251-7778

目 次

	ページ
1 募集人員等	1
2 出願資格	1
3 障がい等のある方の出願	1
4 出願手続	2
5 受験票の交付	5
6 入学者選抜方法等	6
7 合格者発表及び入学意思確認書等の提出	8
8 入学手続	8
9 その他	8
10 入学検定料支払の流れ	10
岡山大学理学部の学士課程教育における教育の方針	13
1) 卒業認定・学位授与の方針 (ディグリー・ポリシー)	
2) 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)	
3) 入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)	

1 募集人員等

学 科	募集人員	募集年次	出 願 上 の 注 意
数 学 科	9	3 年 次	(1) 出願学科は1学科のみとします。 (2) 募集人員には推薦入試を含みます。
物 理 学 科	8		
化 学 科	5		
生 物 学 科	5		
地球科学科	3		

2 出願資格

(1) 一般入試

次のいずれかに該当する者又は2027年3月までに該当する見込みの者

- ① 大学を卒業した者（外国の大学を卒業した者及び外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。）を含む。）
- ② 短期大学を卒業した者（外国の短期大学を卒業した者及び外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。）を含む。）
- ③ 高等専門学校を卒業した者
- ④ 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。）
- ⑤ 学校教育法第132条に規定する専修学校の専門課程を修了した者
注：学校教育法第132条に規定する専修学校の専門課程とは、修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上の専門課程のことです。
- ⑥ 国内の同一の大学に2年以上在学し（休学期間を除く）62単位以上修得した者

(2) 推薦入試

次の①～③のすべてに該当する者

- ① 高等専門学校を2027年3月に卒業見込みの者（ただし、高等専門学校へ編入学した者を除く。）
 - ② 高等専門学校の学業成績が優秀で、学校長が人物、能力、素質、適性等について責任をもって推薦できる者
 - ③ 合格した場合、入学を確約できる者
- ※ 同一の高等専門学校から、複数人の推薦を可とします。

3 障がい等のある方の出願

障がい等のある入学志願者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願に先立ち、次により相談してください。

相談結果の通知及び特別な配慮に基づく必要な措置を講ずるための所要時間を考慮し、少しでも早く相談してください。

相談締切期限	2026年 5月18日 (月)
相談方法	「出願に伴う事前相談書」を請求し、医師の診断書、障害者手帳の写し(交付されている方のみ)を添えて相談してください。
請求先 相談先	〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1番1号 岡山大学理学部事務室 教務学生担当 電話 (086) 251-7778

4 出願手続

(1) 出願方法

入学志願者は、「入学検定料支払の流れ」(10~12ページ)を参照し、入学検定料支払いサイト(<https://e-apply.jp/n/okayama-payment-jpn>)により入学検定料決済を行ってください。その後、次の(5)の「出願に必要な書類等」を「出願書類提出用封筒宛名」を貼り付けた封筒(市販の角形2号)に入れ、出願期間内に必着するよう「書留・速達」として郵送してください。

なお、「出願に必要な書類等」の一部及び「出願書類提出用封筒宛名」は、本学理学部ホームページ(以下、理学部HP)によりダウンロードする必要があります。

その他、出願に使用する封筒は各自でご用意ください。

理学部HP【URL】<https://www.science.okayama-u.ac.jp/>

(2) 出願期間

2026年 6月1日 (月) ~ 6月9日 (火)

出願の方法は郵送とし、2026年6月9日(火)17時までに必着とします。これ以降に到着したものは、2026年6月8日(月)までの消印のあるものに限り受理します。郵便事情等を十分考慮の上、余裕をもって発送してください。また、発送時に到着日時を必ず確認しておいてください。ただし、2026年6月9日(火)に限り、9時00分から17時00分まで次の(3)の提出先への持参による出願を認めます。

(3) 提出先

〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1番1号
岡山大学理学部事務室 教務学生担当
電話 (086) 251-7778

(4) 出願上の注意

- ① 出願後の出願書類等の記載内容についての変更は認められません。
- ② 出願書類受理後は、いかなる理由があっても返却しません。
- ③ 出願書類に不備があるもの及び入学検定料に不足のあるものは受理しません。
- ④ 出願書類等に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学が取り消されることがありますので注意してください。

- ⑤ 改姓（名）前の証明書を使用する場合の提出書類について、編入学願書に記載した氏名と異なる旧姓（名）の記載された証明書も使用できますが、その場合は、改姓（名）の日付と新旧姓（名）を入学志願者本人が記入した文書（様式は任意です。）を添付してください。

(5) 出願に必要な書類等

※様式1～5は本学所定の様式にて提出してください。

出願に必要な書類等	摘 要
① 編入学願書（様式1）、 受験票・写真票	<p>理学部HP掲載の様式1の用紙に、入学志願者本人が必要事項を記入してください。なお、「合格通知等受信場所」欄については、現住所と異なる場合のみ記入してください。</p> <p>※印刷をする際は、片面で印刷してください。</p> <p>【URL】 https://www.science.okayama-u.ac.jp/</p>
② 写 真（2枚）	<p>縦4cm×横3cm、上半身、無帽、正面向きで出願前3か月以内に撮影した写真2枚を、「編入学願書」及び「写真票」の所定欄にのりて貼り付けてください。（貼る前に、写真の裏面に志望学科名と氏名を記入してください。）</p>
③ 入学検定料	<p>30,000円（振込手数料が別に必要です。）</p> <p>2026年5月1日以降、入学検定料支払サイトより入学検定料決済を行ってください。</p> <p>入学検定料30,000円の支払い方法は、コンビニエンスストア、クレジットカード、ネットバンキング、ペイジー対応銀行ATMのいずれかでお支払いください。（振込手数料が別途必要です。）入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を印刷した後、「入学検定料支払証明書」の部分を点線で切り取り、「受験票・写真票・入学検定料支払証明書貼付票」の所定欄に貼り付けてください。</p> <p>【入学検定料支払サイト】 https://e-apply.jp/n/okayama-payment-jpn</p> <p>※入学検定料の支払方法に関する詳細は、「入学検定料支払の流れ」（10～12ページ）をご確認ください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>入学検定料の返還について</p> </div> <p>次の場合を除き、いかなる理由があっても振込済みの入学検定料は返還しません。</p> <p>ア 入学検定料を振り込んだが出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合</p> <p>イ 入学検定料を誤って二重に振り込んだ場合</p> <p>ウ 下記入学検定料の免除に該当する者が、出願期間内に証明書等の取得が困難なため、入学検定料を支払い、所定の出願手続きを行った場合</p>

	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">入学検定料の免除について</div> <p>2025年4月以降に災害救助法の適用を受けた災害により被災した方の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るために、入学検定料免除の措置を講じます。</p> <p>詳細については、理学部事務室教務学生担当にお問い合わせください。</p>
④ 成績証明書	最終出身（在学）学校等の長が作成し、厳封したもの（最終出身（在学）学校等が書類を封筒に入れて糊付けし、緘印を押したものを）を提出してください。
⑤ 推薦書（様式2） <u>※該当者のみ</u>	<p>（推薦入試による入学志願者のみ）</p> <p>理学部HP掲載の様式2の用紙に、在学する高等専門学校長が作成し、厳封したもの（最終出身（在学）学校等が書類を封筒に入れて糊付けし、緘印を押したものを）を提出してください。</p>
⑥ 卒業（見込）証明書 <u>※該当者のみ</u>	推薦入試の入学志願者全員、並びに一般入試の入学志願者のうち出願資格①②③に該当する者は、最終出身（在学）学校等の長が作成し、厳封したもの（最終出身（在学）学校等が書類を封筒に入れて糊付けし、緘印を押したものを）を提出してください。
出願資格を確認できる 証明書 ⑦ （様式3、様式4 又は様式5） <u>※該当者のみ</u>	一般入試の入学志願者のうち出願資格④に該当する者は、高等学校等が発行する証明書（理学部HP掲載の様式3）を提出してください。
	一般入試の入学志願者のうち出願資格⑤に該当する者は、専修学校が発行する証明書（理学部HP掲載の様式4）を提出してください。
	一般入試の入学志願者のうち出願資格⑥に該当する者は、在学期間等証明書（理学部HP掲載の様式5）を提出してください。
⑧ 受験票送付用封筒	「受験票送付用封筒宛名」を貼り付けた市販の封筒（長形3号）に、入学志願者本人の住所、氏名及び郵便番号を明記し、410円分の切手を貼り付けてください。

<p>英語能力試験の ⑨ 成績証明書 <u>※生物学科受験者のみ</u></p>	<p>試験日の2年前から出願までの間に受験した下記のいずれかの英語能力試験の成績証明書の原本を提出してください。確認後、お返しします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ TOEIC® (公開テスト) ・ TOEIC® L&R (公開テスト) ・ TOEIC®-IP ・ TOEIC® L&R IP <p>団体特別受験制度 (カレッジTOEIC®もこれに含まれます。) で受験した場合 (写真票等による本人確認が実施されていること。) はScore Sheetの原本を提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ TOEFL-iBT® ・ TOEFL-ITP® (ペーパー版) <p>なお、上記の英語能力試験科目の複数を受験し、複数の成績証明書を提出した場合は、有利なものを採用します。原本の提出が難しい場合であって、デジタル公式認定証 (QR付き) の提出が可能な場合は、デジタル公式認定証を印刷したものの提出も認めます。</p>
--	---

(6) 個人情報の利用目的

出願書類等及びこれに記載・貼付されている個人情報並びに入学試験成績の個人情報は、入学者選抜に関する業務に使用します。

なお、これらの個人情報は、入学者選抜及び大学教育の改善のための調査・研究の資料としても利用します。ただし、調査・研究結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。

また、次の個人情報は、入学者選抜以外の業務、システム等でも利用します。

- ・ 入学者のみ、氏名、生年月日、性別、出願資格、入学学部・学科等の個人情報を、本学の学務システムで利用します。なお、入学者のうち、入学料徴収猶予申請書、授業料免除申請者については、入学試験成績の個人情報をそれぞれの学力判定処理に利用することがあります。
- ・ 合格者のみ、氏名、生年月日、性別の個人情報を、本学の授業料債権管理システム及び授業料免除事務システムで利用します。

5 受験票の交付

(1) 受験票は、2026年6月12日 (金) 頃に、入学志願者本人あてに発送します。

なお、2026年6月19日 (金) までに到着しない場合は、次の連絡先に連絡してください。

岡山大学理学部事務室 教務学生担当 【電話 (086) 251-7778】

(2) 受験票は、試験当日及び入学手続の際に必要なとなりますので、試験後も大切に保管しておいてください。

6 入学者選抜方法等

(1) 試験科目及び配点

① 一般入試

学 科	試 験 科 目	内 容 等	配 点		
数 学 科	筆記 試験	専門科目 (数学)	微積分及び線形代数について、基礎的な理解及び論理的 思考力を問う問題を出題します。	200点	300点
	面 接 (口述試験を含む)		志望理由の他に、数学に対する意欲や基礎知識を問う質 問を行います。筆記試験の内容及び英語能力を問うこと もあります。	100点	
物 理 学 科	面 接 (口述試験を含む)	物理及び英語に関する基礎知識の口述試験を含み、科学 的思考力、表現力、学習意欲及び適性を総合的に評価し ます。	100点		
化 学 科	面 接 (口述試験を含む)	化学及び英語に関する基礎知識についての口述試験を行 い、勉学意欲、学習能力及び適性を総合的に評価しま す。	100点		
生 物 学 科	外国語科目 (英語)	英語能力試験の成績証明書により評価します。 詳細は「4 出願手続き (5) 出願に必要な書類等⑨」 (4ページ) を参照してください。	100点	300点	
	面 接 (口述試験を含む)	生物学に関する基礎学力についての口述試験を行い、勉 学意欲、学習能力、適性を総合的に評価します。口述試 験には英語に関するものが含まれる場合があります。	200点		
地球科学科	面 接 (口述試験を含む)	地球科学の基礎となる分野 (物理、化学の中から選択) と数学及び英語に関する基礎学力についての口述試験を 行い、また、勉学意欲、学習能力、地球科学を学ぶため の適性を総合的に評価します。	100点		

※ 面接の評価には、書類審査が含まれます。

② 推薦入試

学 科	試 験 科 目	内 容 等	評 価
数 学 科	面 接 (口述試験を含む)	志望理由の他に、数学に対する意欲や基礎知識を問う質 問を行います。また、英語能力を問うこともあります。	書類審査及 び面接によ り、総合的 に合否を判 定します。
物 理 学 科		物理及び英語に関する基礎知識の口述試験を含み、科学 的思考力、表現力、学習意欲及び適性を総合的に評価し ます。	
化 学 科		化学及び英語に関する基礎知識についての口述試験を行 い、勉学意欲、学習能力及び適性を総合的に評価しま す。	
生 物 学 科		生物学に関する基礎学力についての口述試験を行い、勉 学意欲、学習能力、適性を総合的に評価します。口述試 験には英語に関するものが含まれる場合があります。	
地球科学科		地球科学の基礎となる分野 (物理、化学の中から選択) と数学及び英語に関する基礎学力についての口述試験を 行い、また、勉学意欲、学習能力、地球科学を学ぶため の適性を総合的に評価します。	

(2) 試験日程

① 一般入試

試験日	試験科目	試験時間
2026年7月4日(土) (数学科)	筆記試験 専門科目(数学)	9時00分～11時30分
	面接(口述試験を含む)	13時30分～
2026年7月4日(土) (物理学科、化学科、 生物学科、地球科学科)	面接(口述試験を含む)	9時00分～

※ 定められた試験科目を1科目でも受験しない場合は、失格とします。

② 推薦入試

試験日	試験科目	試験時間
2026年7月4日(土) (全学科)	面接(口述試験を含む)	9時00分～

●試験に関する重要なお知らせが生じた場合(災害の発生や大規模な感染症の流行を含む。)は、下記HPにより周知を行いますので、必ず確認してください。

<https://www.science.okayama-u.ac.jp/>

(3) 試験会場

岡山大学理学部本館 【岡山市北区津島中三丁目1番1号】

〈試験会場への経路〉

- ① JR岡山駅運動公園口(西口)バスターミナル22番のりばから岡電バス【47】系統「岡山理科大学」行きに乗車、「岡大西門」で下車(バス所要時間約10分)。
- ② JR岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル7番のりばから岡電バス【16】系統「津高台・半田山ハイツ」行き、【26】系統「国立病院」行き、【36】系統「辛香口」行き、【86】系統「免許センター」行きのいずれかに乗車、「岡山大学筋」で下車、徒歩約7分(バス所要時間約10分)。
- ③ JR津山線「法界院駅」で下車、徒歩約10分。

※ 記載のバス所要時間は、通常の交通状況での見込み時間です。

7 合格者発表及び入学意思確認書等の提出

- (1) 合格者の発表は、次表のとおり行います。

日	時
2026年 7月27日(月) 10時00分の予定	

- ① 理学部HPに合格者の受験番号を掲載し、同日付けで合格者に合格通知書及び入学意思確認書等を郵送します。

ホームページへの掲載期間は、2026年8月3日(月)までとします。

(<https://www.science.okayama-u.ac.jp/>)

- ② 推薦入試については、出身学校長にも合否の結果を通知します。

- ③電話等による合否の問い合わせには一切応じられません。

- (2) 入学意思確認書等の提出期限の2026年9月2日(水)までに入学意思のある者が募集人員に満たなかった場合は、追加合格該当者から欠員を補充します。

追加合格該当者には、2026年9月3日(木)から9月4日(金)までの間に、理学部から電話により、編入学願書に記載した合格通知等受信場所に連絡します。

8 入学手続

- (1) 入学手続方法

入学する意思を確認した者に対して、「入学案内」を郵送します。

- (2) 入学手続期間

2026年11月下旬(具体的な日程は、入学する意思を確認した者に対して改めて通知します。)

9 その他

- (1) 入学料及び授業料

入 学 料 282,000円〔予定額〕

授 業 料 267,900円(年額 535,800円)〔予定額〕

※入学時及び在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。

- (2) 修学援助

修学援助の一環として、入学料免除・徴収猶予、授業料免除及び奨学金の制度があります。

- (3) 編入学の時期

- ① 編入学の時期は、2027年4月です。

- ② 修業年限は2年です。ただし、第3年次終了時までには本学部で定める所定の単位を修得しなかった場合は、3年以上必要となります。なお、最長在学年数は4年とします。

(4) 既修得単位の認定

編入学生が出身学校において修得した単位については、本学部の教育課程及び授業科目に照らし、書類審査、面接等による単位認定審査を行い、既に十分な学修成果を得ていると評価される場合は、本学部の単位を修得したものとして認定します。

本学部の卒業要件単位数はいずれの学科も124単位であり、第3年次編入学生の既修得単位の認定の目安は下表のとおりです。

ただし、入学前の出身学校における専攻分野や単位修得した授業科目の内容等によっては、認定単位数が以下の目安よりも少なくなることがあり、場合によっては2年間での卒業が困難な場合もあります。

科目区分		認定単位数の目安
全学共通科目		最大認定単位数 11単位（卒業要件全単位）
英語科目		最大認定単位数 8単位（卒業要件9単位）
専門教育科目	全学交流科目	最大認定単位数 4単位（卒業要件全単位）
	専門基礎科目	最大認定単位数 18単位（卒業要件全単位）
	専門科目	40単位程度まで

なお、既修得単位の認定には、講義概要（シラバス）、学生便覧等といった、出身学校のカリキュラムや授業内容についての資料の提出が必要になりますので、あらかじめ準備しておいてください。

※理学部各学科の開講科目の詳細は、岡山大学ホームページで確認することができます。

<https://www.okayama-u.ac.jp/tp/life/binranindex.html>

岡山大学 → 教育・学生生活・就職 → 大学におけるルール

→ 学生便覧（学部規程・履修細則等）

（2025年度の理学部学生便覧の内容を参照してください。）

(5) 教育職員免許状の取得について

教育職員免許状の取得を希望する場合、第3年次に入学後2年間で所要の単位を修得できないことがあります。その場合は、本学大学院への進学又は本学部卒業後に、本学部又は本学教育学部の科目等履修生として、所要の単位を修得することも可能です。

また、高等専門学校を卒業した者については、教育職員免許状の取得に必要な「教科に関する専門的事項に関する科目」として認定される既修得単位は、10単位を上限とし、第4学年及び第5学年で修得した科目に限られています。（教育職員免許法施行規則第66条の7）

入学検定料支払の流れ

入学検定料支払の流れは、以下のとおりです



STEP 1 事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを
用意してください。
(スマートフォン、タブレットは非推奨)

STEP 2 入学検定料支払サイトにアクセス

日本語サイト <https://e-apply.jp/n/okayama-payment-jpn>
または、
英語サイト <https://e-apply.jp/n/okayama-payment-eng>
または、
大学
ホームページ <https://www.okayama-u.ac.jp/tp/admission/index.html>
からアクセス

STEP 3 個人情報の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

①試験方式、研究科等

②テスト送信メールの確認
テストメール送信を行い、登録アドレスにテストメール受信の確認後、メールアドレス下の【メール確認済】のチェック☑を入れてください。

③個人情報(氏名・住所等)

④申込登録完了
受付番号(12桁)は必ず控えてください。個人情報を確認する場合と、入学検定料支払証明書を出力する際に必要になります。

⑤入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード

⑥入学検定料支払証明書(イメージ)

「支払済内容を確認・印刷」ボタンより、受付番号(*)、生年月日、メールアドレスを入力・ログインすると、自分が登録した内容確認、Web志願書の出力ができます。

「受付番号(12桁)メモ」

227484221761 (*)

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」又は「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストア又はペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、個人情報登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP

4

入学検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

個人情報の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFGカード, DCカード, UFJカード, NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

個人情報の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

個人情報の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

- レジで支払い可能
- 店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



マルチコピー機

あなかも、コンビニ、



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

個人情報の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。

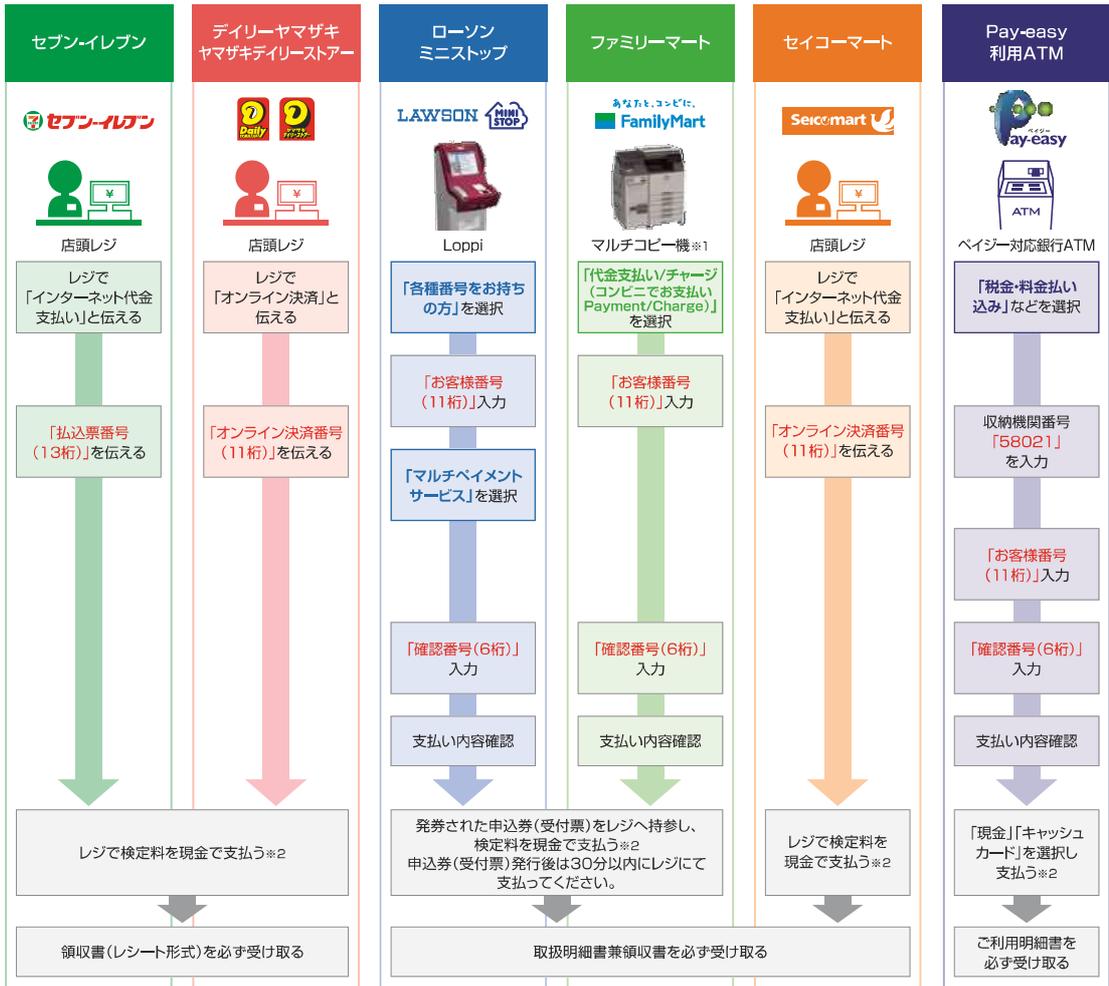


※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア

4 銀行ATM



※1:店舗によっては、マルチコピー機でなくfamiポートを利用する場合があります。

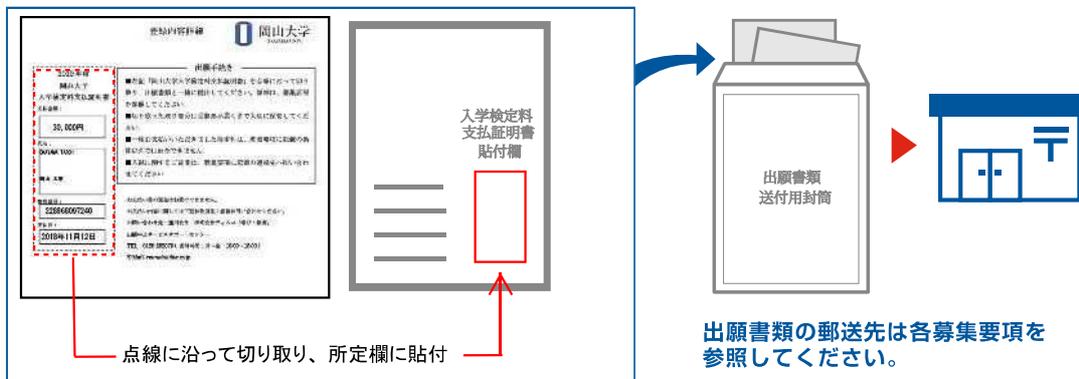
※2:ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP

5

入学検定料支払証明書の印刷

個人情報登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を印刷し、入学検定料支払証明書を点線に沿って切り取り、所定欄へ貼付してください。その他の出願に必要な書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「書留・速達郵便」で郵送してください。※出願締切日は各募集要項を参照してください。



〈支払完了〉

出願時の 注意点

出願は学生募集要項記載の必要書類と入学検定料支払証明書を併せて郵送して完了となります。登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

支払は24時間可能です。個人情報登録、入学検定料の支払は出願締切日17時(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)です。必要書類の郵送は各募集要項で定められた時間内に行ってください。ゆとりを持った出願を心がけてください。

理学部 教育の方針

教育の基本的目標

理学部は、数学、物理学、化学、生物学、地球科学の各分野でなされる最先端の研究を基盤とした教育を通し、学生が自然科学の専門知識と技能、考え方を修得し、それらを生かして“知の創成”に主体的に参画し得る専門力と探究力を身に付けることを目指します。また、探究活動における学生同士や教職員との密接な対話や議論を通して相互理解を深めるコミュニケーション力を高め、さらには主体的な学習姿勢、創造的思考、分析能力、豊かな人間性などの教養力を醸成します。これらの能力を活かして、科学的な知識と考え方で課題解決に取り組む、国内外の幅広い分野において中核的に活躍し得る総合的能力と人格、すなわち実践力を備えた人材の育成を目標とした教育を行います。

養成する人材像

教育の基本的目標に基づき、実践力・探究力・コミュニケーション力・専門力・教養力を備え、科学的な知識と考え方で新たな価値創造と世界の革新に貢献できる「主体的に変容し続ける先駆者」を養成します。

身につけた自然科学の知と科学的な探究力を活かして、自ら学び自ら行動する実践者

以下の、5つの力を持つ人材を養成します。

- 自ら進んで、課題解決に挑む実践力
- 自ら問うて、課題を見出す探究力
- 語り聴くことを通して、差異から学ぶコミュニケーション力
- 基礎的かつ体系的な専門力
- 自然や社会に関心を持ち、学びを習慣化する力（教養力）

これを踏まえ各学科が具体的に掲げる「養成する人材像」は以下の通りです。

数学科：現代数学の成り立ちを踏まえた高度な思考能力を身につけ、将来大学院へ進学して学問の進歩に貢献できる人材、教員となり数学の考え方を生徒に伝える人材、企業や公官庁等で活躍できる人材

物理学科：物理学の基本概念と方法論を修得することにより、科学の発展に寄与し、社会に貢献できる人材

化学科：あらゆる物質を対象とし、その物性、構造、反応についての実験と理論に関する教育を通じて、広い視野と高い研究能力を身につけ、専門知識を生かして新しい分野に積極的に挑戦できる研究者、並びに、教育など社会の諸分野で活躍できる人材

生物学科：現代生物学の基礎知識と生命現象を多様な視点から解析する能力を身につけ、その知識と能力を活用して社会と科学の発展に貢献できる人材

地球科学科：自然科学の様々な分野の知識をもとに地学現象について研究する能力を修得し、地球科学に関連した課題の解決に寄与できる人材

卒業認定・学位授与の方針（ディグリー・ポリシー）

理学部は、先に掲げた人材を養成するため、所定の期間在学し、以下に掲げる力を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位を授与します。

修得できる力：実践力・探究力・コミュニケーション力・専門力・教養力

【実践力】自ら進んで、課題解決に挑む実践力

課題と向き合い、国際的な舞台で、科学的な知識と考え方で解決に向けて行動することができる。

【探究力】自ら問うて、課題を見出す探究力

多角的な視点で対象を把握し、論理的思考により課題を明らかにすることができる。

【コミュニケーション力】語り聴くことを通して、差異から学ぶコミュニケーション力

科学的な考え方で論理的な説明ができ、他者との議論を通して物事を理解し自らを高めることができる。

【専門力】基礎的かつ体系的な専門力

各学科それぞれの専門分野を学ぶことによって、様々な自然現象の背後にある普遍的な法則や原理を理解するとともに、修得した知識や技能を体系的に組み立て、様々な問題を発見し、その解決に意欲的に取り組むことができる。

【教養力】自然や社会に関心を持ち、学びを習慣化する力（教養力）

自然や社会のさまざまな事象に好奇心を持ち主体的に学び続けることができる。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

卒業認定・学位授与の方針（ディグリー・ポリシー）で掲げた力を修得した人材を養成するため、理学部として以下の方針及び考え方にに基づき、教育課程を編成し、実践します。

教育の実施方針

持続可能社会の実践に向けて学生が主体的に学び成長し続ける能力を育成する教育を実施します。

教育内容の考え方

主体的・対話的で深い学びの視点から、「教員が何を教えたか」から「学生が何をできるようになったか」を重視して、以下の教育内容を提供します。

【共通教育】

全ての学生に共通して求められる汎用的技能の育成を目指し、他の学生と学び合う、共に育ち共に創る実践的な活動を提供します。

自身の考えと異なる人との対話や協働を進めるために必要な知識や技能を身につけるカリキュラムを提供します。

【専門教育】

専門領域の内容を体系的に提供することによる深い理解と、異なる専門領域の知識を統合したり、創造したりすることができる機会を提供します。

専門科目においては、専門分野の知識や技能を初年次から体系的に修得します。さらに、修得した専門知識を自ら実践・確認し、より深く理解できるようにするための演習や実験、課題研究に取組み、社会の要請に応える自然科学の専門知識と課題発見・問題解決の実践的な能力を身につけます。また、専門基礎科目や理学部共通科目などにおいては、異なる専門領域にまたがる統合的、学際的な知識や技能を身につける機会も提供します。

【言語教育】

グローバル社会を生きるうえで必要とされる語学力を伸ばす教育を提供します。

聞く、読む、話す、書くを統合した総合力を伸ばすために必要な英語を、異文化理解の科目群を通じて言語を学ぶ初修外国語を、留学生には日本語を、それぞれ学ぶ機会を提供します。専門教育においても、専門分野の学びや研究活動を、英語を用いて実践する機会を提供します。

教育方法の考え方

前述の教育内容を以下の方法で提供します。

- ① 理学部では、各学科とも専門分野を体系的に学ぶため4年間の一貫した教育コースを設定しています。また、各学科の開講科目を中心に履修し高い専門性を習得するための「専門力プログラム」の他に、科学の最先端で活躍できる研究者・技術者・教育者を指すための「フロンティアプログラム」（フロンティアコース、フロンティアサイエンティスト特別コース）、学科横断的に学際領域を幅広く学び新しい研究分野で活躍することを目指す「学際プログラム」（理学系数理・データサイエンスコース、複合領域科学コース）を加えた3プログラムを設定し、学修者は個々の志望に合わせた主体的な学びでディグリー・ポリシーに掲げる学士力を身につけていきます。
- ② 各学科の履修プログラムで定められた卒業要件を満たすように、1年次から4年次までの必修科目・選択必修科目・選択科目を履修することにより、各学科の専門分野の知識や技能・考え方を修得します。専門分野の教育では、講義に加え、演習・実験・実習・ゼミナールなどの少人数教育の利点を生かした実践的な授業も多数設定されており、専門科目で修得した知識を自ら実践・確認し、より深く理解できるような教育内容となっています。
- ③ 学部教育の集大成として4年次で履修する「課題研究」は、配属された研究室において個々の課題の研究やゼミナールを中心とした密度の濃い専門教育を通して、先端的な研究を自ら実施することで、社会の要請に応える自然科学の専門知識と課題発見・問題解決の実践的な能力を獲得できる内容になっています。なお、理学部では、卒業要件単位の他に、「課題研究」を履修するために必要な単位数を設定しています。これは汎用性のある専門知識と論理的な知識の体系化ができてこそ、専門分野における未知の課題に挑戦できるからです。

学修評価の考え方

授業科目の成績評価については、その基準・方法を予め明示し、それらに基づいて学修成果を評価します。

正課外教育の考え方

学生が授業での学びを越えて自らの成長を実感できる正課外の活動を推奨します。

理学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

理学部は、以下に掲げた力を身につけた人材を求めます。

求める人材像

岡山大学の求める人材像である「先人の築いた知から課題に迫る実践力、課題と自らの考えを結びつける探究力、自らの課題や構想を分かり易く表現できる力、自然や社会に関する基礎的な知識と語学力、学びそのものへの興味を持ち工夫できる力を身につけている人材」を基本として、次のような学生を求めています。

1. 自然科学の基礎を学び、その知識や能力を社会で活かしたいと考える人
2. 自然現象を原理や法則から理解したいと考える人
3. 真理探究への情熱をもっている人

求める力

岡山大学及び理学部が掲げる「教育目標における5つの力」を達成しうる資質として、次の力を求めます。

【実践力】

身につけた科学的な知識と考え方から課題解決に向け行動する力

【探究力】

自然科学の探究に情熱を持ち、課題に対する自らの考えを導き出す力

【コミュニケーション力】

自らの考えを科学的に分かり易く表現し議論を深める力

【専門力】

自然科学の専門分野の学びに必要な数学・理科・英語に関する基礎的な学力

【教養力】

自然や社会に関心を持ち主体的に学ぶ力

理学部の選抜方針

各学科それぞれで、専門分野に応じた力を発揮できる人材の選抜を目指します。さらに、幅広く多様な人材を確保するため、複数の試験及び日程の入試を実施します。

理学部の選抜方法

学力検査、面接、書類審査などによる試験のいずれかを、あるいは組み合わせて行い、本学での学修に足る学力と適性を測ります。

選抜方針・各選抜方法の具体的な考え方

各学科のアドミッション・ポリシーを参照ください。

入学者選抜と、学力の3要素との関係

各学科のアドミッション・ポリシーを参照ください。

入学前に学習しておくことが期待される内容

各学科のアドミッション・ポリシーを参照ください。